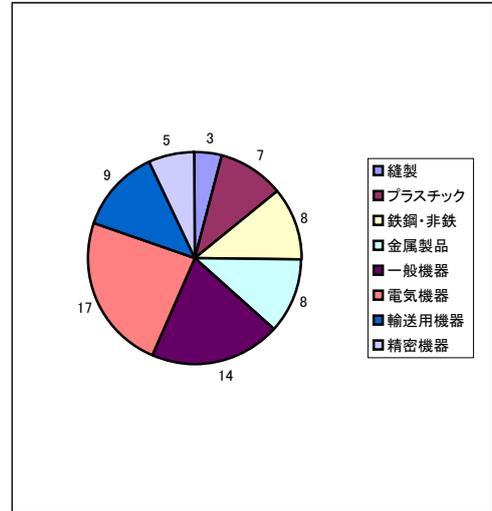


# 発注動向

-2008.7-

- 調査時点 平成20年7月調査(20年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 71社(回答率:47.3%)  
(縫製3社、プラスチック7社、鉄鋼・非鉄8社、  
金属製品8社、一般機器14社、電気機器17社、  
輸送用機器9社、精密機器5社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12末時点)

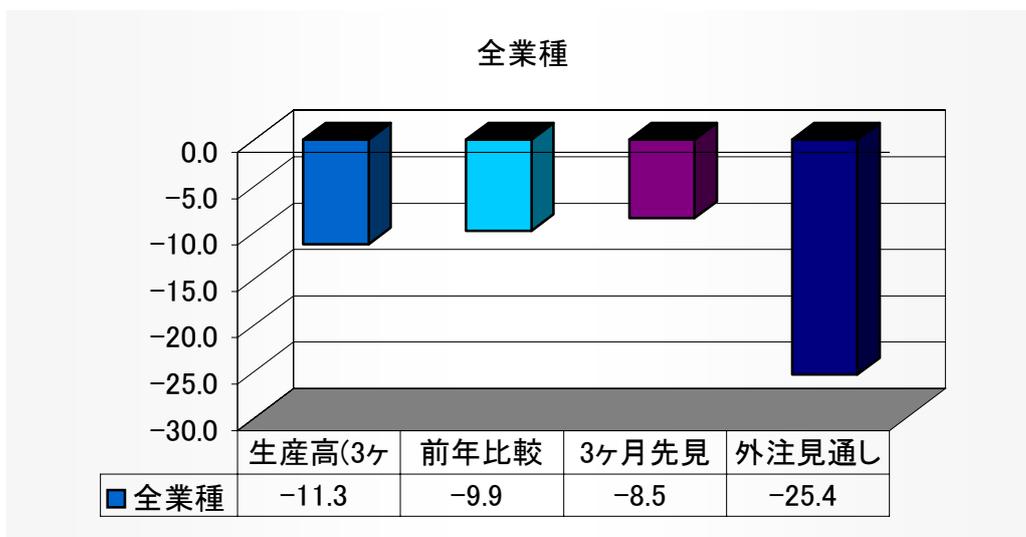
縫製	3	4.7%
プラスチック	7	10.9%
鉄鋼・非鉄	8	12.5%
金属製品	8	12.5%
一般機器	14	21.9%
電気機器	17	26.6%
輸送用機器	9	14.1%
精密機器	5	7.8%



## 全業種

前回調査結果(3月末時点)に比べ、生産高の3ヶ月前比は▲11.3ポイント(前回▲14.1ポイント)、生産高の前年対比は▲9.9ポイント(前回▲12.5ポイント)、生産高の3ヶ月先見通しは▲8.5ポイント(前回▲14.1ポイント)で、やや回復傾向である。

外注利用の見通しについては、▲25.4ポイント(前回▲25.0ポイント)で引き続き厳しい状況が窺える。



## ■ 生産高

生産高の3ヶ月前比は、「精密機器」▲20.0ポイント(前回28.6ポイント)、「金属製品」▲25.0ポイント(前回16.7ポイント)、「プラスチック」▲14.3ポイント(前回12.5ポイント)で大幅な減産傾向である。一方、「輸送用機器」22.2ポイント(前回▲12.5)、「電気機器」▲5.9ポイント(前回▲58.3ポイント)、「縫製」▲0.0ポイント(前回▲50.0)と大幅な増産傾向である。

生産高の前年対比は、「プラスチック」14.3ポイント(前回62.5ポイント)は大幅な減産傾向である。「一般機器」▲21.4ポイント(前回▲41.1)、「電気機器」▲5.9ポイント(前回▲47.7)、「精密機器」60.0ポイント(前回28.6ポイント)で増産傾向である。「輸送用機器」は横ばい。

## ■ 業況3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは、「プラスチック」▲42.9(前回0.0)で大幅悪化の見通し。「金属製品」0.0(前回▲16.7)、「一般機器」▲21.4ポイント(前回▲33.3)、「精密機器」40.0ポイント(前回▲14.3)は改善の見通し。「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」では現状維持の見通しである。

## ■ 外注見通し

外注見通しは、「鉄鋼・非鉄」▲25.0ポイント(前回▲42.2)、「電気機器」▲29.4ポイント(前回▲41.7)、「精密機器」0.0ポイント(前回▲28.6)、「輸送用機器」0.0ポイント(前回▲12.5)と増加してる。一方、「金属製品」▲25.0ポイント(前回▲16.6)、「一般機器」▲42.9ポイント(前回▲16.7)は減少傾向である。

